さあ、2年ぶりの蔵王へ出発！

スキー旅行まであと2日

1月27日(月)～1月31日(金)にかけて56回生蔵王スキー修学旅行が行われる。今年は雪不足も心配されていたが、積雪の便りも届いた。今回はこのスキー旅行を最高の思い出にするために活動している生徒たちに取材した。また新たに導入された体験学習についても紹介する。

（編集部共同取材）

ＨＲ委員会　今年は宿舎ごとにレク

ＨＲ委員の中田直希くん（２Ｅ）によると、アネックスに泊まるＡ、Ｅ、Ｉ、Ｍ組は宿レクとしてビンゴを行う。ＨＲ委員は事前に経費として生徒から１００円を徴収。中田くんは「他クラスとも仲良くなれる、良いレクだと思います」と話した。

ＨＲ委員の角屋風水くん（２Ｌ）によると、ヴァルトベルクに泊まるＣ、Ｄ、Ｋ、Ｌ組も宿レクを行うそう。決定の経緯について「このスキー旅行は２年生最後の思い出作りの場になると思うので、宿の全体レクにしました」と話し、「内容はまだ秘密です。当日まで楽しみにしていてください！」と微笑んだ。

Ｂ、Ｈ、Ｊ組が宿泊するオークヒルでは、３クラス合同でビンゴ大会、おたまリレーを行う。加藤葵さん（２Ｂ）は「ビンゴは部屋班対抗のためクラス内でも対決することになりますが、おたまリレーではクラスの団結を深めることができると思います」と話す。最後に浮島優月さん（２Ｂ）は「全員が楽しめるレクにしたいです」と意気込んだ。

甲斐瑞輝くん（２Ｆ）によると、季の里に泊まるＦ、Ｇ組が行う宿レクでは、あるゲームを行う予定。想像力を働かせ、切り抜かれた漫画の一場面の台詞をグループに分かれて考えるそうだ。甲斐くんは「この宿レクを通してクラスの絆が深まると思う。楽しんでもらいたい」と話した。

「レク内容は当日まで秘密です」と角屋くん

しおり係　想いが詰まったしおりに

スキー旅行を月末に控えた1月8日(水)、2年生へしおりが配布された。

「出来栄えは１２０％です」

しおり係チーフの阪本裕仁くん（２Ｃ）によると、しおりの製作期間は1ヶ月ほどで、2学期の終わり頃に完成したという。「最初にやりたい企画などの案をみんなで出し合い、味噌作りやクイズなどのコラムを決めていきました」と阪本くん。メンバーが期日通りに原稿を提出してくれたため、作成はスムーズに進んだという。阪本くん自身も余裕をもって仕事することを心がけていたそうだ。

しおりについて「絵を描くことが好きな人が集まっていたので、挿絵が多く見やすいものになったと思います」と評価。2年生へ「雑に扱わずボロボロになるまで使って欲しいです」と呼びかけた。

バラエティに富んだ内容だ

ＰＲ係　ワクワクするＰＲ新聞を

ＰＲ係は、スキー旅行についての情報をまとめ、週1回のペースで記事の発行を行う係だ。記事の内容は生徒たち自身でグループに分かれて調べているという。情報は主にインターネットから取り入れ、現在第9号までの記事を出している（1月20日(月)時点）。最新号の9号では、気象庁のＨＰにある山形県の年間積雪量のグラフを参考に、蔵王温泉スキー場の積雪予測、スキー滑走路の提示をしていた。また、蔵王に行ったことのある芹澤貴央先生へのインタビュー（4号）やスキーをしたことがない人に向けてのスキーの流れやうまく滑るためのコツなどを挙げていた（5号）。

ＰＲ係のチーフを務めている白倉由麻さん（２Ｋ）は「ＰＲ係の人は皆、蔵王に行きたいという気持ちで記事を作っています。そのような思いがＰＲ係以外の２年生にも伝わって、蔵王を楽しみに待ってくれる人が増えると嬉しいです」と話した。白倉さん自身は、中学生の時以来のスキーと山形県の自然豊かな土地感を楽しみたいそうだ。

「蔵王を楽しみに待っていてほしいです」

蔵王の雪、どうなっている？
20のコースが滑走可能に

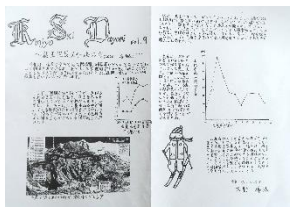
暖冬と言われている今シーズン。スキー場での降雪量への不安を抱いている生徒もいるだろう。そこで、現在の蔵王の雪の状態や、修学旅行中の天気などを調べてみた。

山形地方気象台によると、先月1か月間に降った雪の量は山形市で観測史上最も少ない3センチにとどまるなど、県内各地で記録的な雪不足が起きている（1月10日(金)ＮＨＫニュースより）。しかし、その後の1月21日(火)には日本海側を中心に雪がまとまって降るなど、降雪量はどんどん増えている。

蔵王温泉スキー場のＨＰから、各ゲレンデの降雪量や滑走状況を確認することができる。調べてみると、滑走不可となっているのは全25コース・ゲレンデのうち5か所のみ。（1月24日(金)時点）滑走可能なエリアも日ごとに広がっている。

1月20日(月)に発行されたKinjo Ski Dayori vol.9でも「蔵王温泉スキー場の今」というタイトルで、蔵王の雪の様子が特集されていた。ここでは、蔵王温泉スキー場がある山形県山形市の年間・週間気温のデータから、修学旅行期間中の雪質を予想。このＰＲ新聞を書いたＰＲ係のヴァルトベルク班大野優汰くん（２Ｄ）は「今年の雪の状況については自分も気になっていたので、雪をテーマに書こうと決めました」と話した。

蔵王温泉スキー場でも降雪機を2台（1月16日(木)時点）稼働させてスキー場を整備するなど、準備が着々と進められている。蔵王の方々に感謝を忘れず、楽しいスキー旅行にしよう。（槿）



1月２０日に発行されたKinjo Ski Dayori vol.9

Ｔシャツ係　感謝を込めてデザイン

閉校式ではスキー実習のインストラクターの方に毎年贈り物をしている。今年は生徒がデザインしたＴシャツを贈ることが決まり、デザインを募集した結果、阪本裕仁くん（２Ｃ）のデザインを採用することに決まった。

阪本くんは、担任の山中崇靖先生から声をかけられた際、デザインすることは好きだったためやることに決めたと話す。

黒地のＴシャツをベースとして、左腹の部分にＫｉｎｊｏの文字とスキーヤーがあしらわれているデザイン。前からＫｉｎｊｏのＫの字の部分をゲレンデに見立てたら面白いと思っていたという阪本くん。どんな服にも合うようなデザインになるよう地の色なども考え、「デザインはスポーツメーカー（のＴシャツ）っぽくすることを意識しました」と振り返る。

自分のデザインに決まったことについて「自分がデザインしたものを人に着てもらうのは変な感じもしますが嬉しいです」と心境を語った。

阪本くんがデザインしたＴシャツ

クラス学習について

スキー修学旅行最終日の５日目はクラスごとに分かれ、焼き物体験・味噌作り・市内観光の中から１つを体験する。具体的にどのようなものを体験するのか調べてみた。

上原先生と石塚先生の手には蔵王で作られた焼き物が

▲焼き物体験

例年通りに行われる焼き物体験。当日は窯元の職人さんに来ていただき、教授してもらう。円柱状の粘土を渡され、それを自分で自由に成形していくそうだ。その後、現地で乾かして、焼き入れをする。完成品は早くても終業式、遅くても新学期までには届くそうだ。

▼味噌作り体験

５６回生が初めてとなる味噌づくり体験。串田昌也先生によると、火が通った状態のこうじをつぶすところから作業が始まるという。作業は味噌を発酵させる手前まで進める。

蔵王で作ることができるのはここまでで、2、3日後に未完成の味噌が各家庭に到着するそうだ。その後発酵させることにより、冬ぐらいには食べられるようになる。また、体験当日には、実際の味噌の作り方の講座も行われる。

写真は文翔館公式Instagramより

▲市内観光

山形市内観光では文翔館、最上義光歴史館、湯殿山神社、山形城址・山形市郷土館の４エリアをガイドさんと見学する。

特に現地の方がおすすめするのは、旧県庁舎及び県会議事堂であった文翔館。大正初期の洋風建築の貴重な遺構として国の重要文化財に指定されている。

体調管理に気をつけて！
蔵王でできる対策も

学級閉鎖のクラスが出たことを受け、保健室の早川萌先生にこれからのインフルエンザ感染の予防策を聞いた。

早川先生は感染の予防策として「手洗い」「換気」をあげた。換気は各クラス、休み時間などで行われているが、手洗いは個人で行う予防となる。早川先生は手洗いについて「必ず石鹸を使ってしてください。人は手についた菌が、触れたものを通して口の中に入ることで感染します。手だけは入念に洗うようにしてください」と念を押した。

錦城ではインフルエンザＡ型が3人、Ｂ型が26人（1月20日(月)時点）とＢ型が流行っている。Ｂ型にかかったとしても、次はＡ型にかかり、何度もインフルエンザに感染することもあるそう。インフルエンザにかかった人もかかっていない人も予防をしっかりとすることが必要だ。

またスキー旅行での健康管理の方法についても聞いた。早川先生は「よく食べて、よく寝て、免疫力をあげること」を挙げた。夜更かしで「よく寝ること」という当たり前の健康管理が出来ないのが修学旅行というものである。しかし、睡眠不足では楽しめるものも楽しめなくなってしまう。修学旅行中でも体調が悪いときは「悪い」としっかりと言うことも周囲への感染を防ぐためには必要だという。（雀）

マスク着用とアルコール消毒で感染症を予防しよう

大会報告

1月19日(日)
硬式テニス部
▽私学個人戦　女子ダブルス
藤田華凛（２Ｊ）、庄司結衣（１Ｇ）
本戦２回戦進出

好き！スキー旅行写真コンテスト開催

あなたが蔵王で撮った思い出の１枚を、錦城高校新聞に載せて共有しませんか？新校舎７階生徒会室までＳＤカードorＵＳＢメモリに入れて持ってきてください！沢山の応募まってます☆

Ｃｌａｓｓｉを活かそう！

56回生の代から入試改革が始まることにより、2年生はポートフォリオを使用して様々な探究活動を行っている。その一環としてスキー旅行についても、昨年中を提出期限としてClassiで事前レポートが配信された。

テーマはスキー（実習）、味噌、平清水焼、山形県内観光地など、スキー旅行に関するもの。2年生は自分が興味のある事柄をインターネットや本で調べ、８００～１０００文字程度でレポートを書いた。この事前レポートを配信したスキー旅行チーフの串田昌也先生によると、提出されたレポートはテーマにスキーや樹氷などの雪関係を選んだものが多く見られたという。編集委員の中でも、樹氷をテーマに設定した生徒が1番多かった。

スキー旅行後には事後レポートも配信される。有意義な5日間にして、今後の活動につなげよう。